

2022年02月25日

東急不動産株式会社
東急不動産キャピタル・マネジメント株式会社

物流特化型私募ファンド「LOGI'Q1 コアファンド」を組成

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志、以下、東急不動産）と100%子会社の東急不動産キャピタル・マネジメント株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：恒吉 毅、以下、TLCM）は、TLCM自らが資産運用業務を行う私募ファンド「LOGI'Q1 コアファンド」を複数の国内機関投資家と組成したことをお知らせいたします。

LOGI'Q1 コアファンドは、首都圏、関西圏、中部圏、九州圏を中心とした全国の主要物流需要エリアにおいて東急不動産が開発する先進的な物流施設「LOGI'Q（ロジック）」を投資対象とし、投資家に対して配当を通じて長期的に安定した収益を生み出します。

また、同ファンドにおいては、東急不動産の物流施設計画指針に則り、CASBEE A ランク等の各種環境認証の取得、倉庫周辺の緑化等のヒートアイランド対策、太陽光発電等再生エネルギーの活用、セキュリティの確保、災害・BCP対策等のESG投資基準を定めており、ESG投資を通じて持続可能な環境や社会の実現に貢献します。

今後、中長期的な収益の維持・拡大に努め、資産規模1,000億円をめざします。

■ 物流施設「LOGI'Q」のブランドコンセプト

「LOGI'Q」のブランドコンセプトは、“Deliver future and smiles.”。多くの物や人が行き交い、ゆたかな社会を支えてくれている物流施設を今まで以上に社会に溶け込むものにしていきたい。そんな想いから生まれた物流施設が、「ロジック」です。関わる全ての人にやさしい施設であるため、東急不動産が培ってきた総合デベロッパーのノウハウを活かせるよう開発を進めると共に、皆様に愛される物流施設として運営して参ります。

 LOGI'QLOGI'Q ホームページ <https://tokyu-logiq.com/>

■ 長期ビジョン「GROUP VISION 2030」の取り組みテーマとSDGsの取り組み

東急不動産ホールディングスグループは、2021年5月に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を発表しました。「WE ARE GREEN」をスローガンに、誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来を実現します。価値を創造し続ける企業グループをめざして、重視する社会課題から抽出した6つのテーマに取り組み、SDGsの達成に貢献していきます。

本リリースにおける取り組みテーマ（マテリアリティ）

ウェルビーイングな街と暮らしをつくる

サステナブルな環境をつくる

貢献するSDGs



東急不動産ホールディングスグループ「GROUP VISION 2030」について
<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>